

## 伊勢湾貧酸素情報（第 4 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、広い範囲で 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が形成されています。

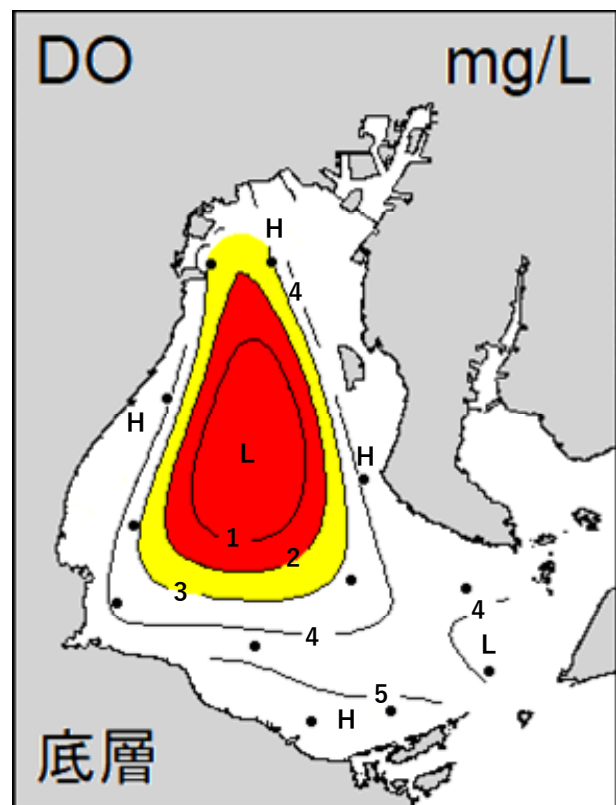
### 9 月 9 日の調査結果

9 月 9 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 26.7～29.1℃、10m で 24.8～27.4℃、底層で 19.8～26.9℃ の範囲にあり、表層と底層は平年より高め、10m は平年よりかなり高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 5.5～11.1 mg/L、10m で 4.4～6.6mg/L、底層で 0.7～5.4 mg/L の範囲にあり、表層は平年並、10m は平年よりやや高め、底層は平年より高めとなっていました。

底層では、先月の観測時より規模が縮小しましたが、依然として広い範囲で 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が形成されていました。

表層と底層の水温差などは小さくなってきていますが、まだ海水の上下混合が起こりにくい状況にあり、今後もしばらくは貧酸素状態が継続するものと考えられます。



底層貧酸素水塊分布図